

## 安全運転管理者事業所の交通事故発生状況

宮城県安全運転管理者事業主連合会・(一社)安全運転管理者協会

## ～ 11月末までの状況～

## 1 特徴

- 死者は前年同期比で-1件-1人、発生件数で9%、負傷者数で9.9%の減少（※統計に含まれていませんが12月中に2件2人の死亡事故が発生しています。）
- 重傷事故が71人(前年比+12名)であり、重大事故につながりかねません。
- 全事故に占める追突事故の割合は43.4%に対し、業務中の追突事故51.9%、通勤中の事故追突事故は55.5%←依然追突事故防止が大きな課題
- 飲酒事故は通勤中に2件と業務外に4件(重傷者1人、軽傷者6人)発生
- 免許経験年数別では、938件中662件(70.6%)が運転経歴10年以上

## 2 前年との比較

【1月から11月までの発生状況】

安管事業所の全事故	区分	発生件数	死亡事故		負傷者		
			件数	死者	重傷	軽傷	計
	本年	938	4	4	71	1,085	1,156
前年	1,031	5	5	59	1,224	1,283	
増減	数	-93	-1	-1	12	-139	-127
減	率	-9.0	-20.0	-20.0	20.3	-11.4	-9.9

【目的別発生状況】

区分	発生件数	死亡事故		負傷者			
		件数	死者	重傷	軽傷	計	
業務中の事故	本年	214	1	1	14	250	264
	前年	241	2	2	10	305	315
	増減	-27	-1	-1	4	-55	-51
通勤中の事故	本年	362	2	2	35	399	434
	前年	390	1	1	24	438	462
	増減	-28	1	1	11	-39	-28
業務外の事故	本年	362	1	1	22	436	458
	前年	400	2	2	25	481	506
	増減	-38	-1	-1	-3	-45	-48

## 3 県全体との比較

【県全体の事故との比較】

(平成29年11月30日現在)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者		
		件数	死者	重傷	軽傷	計
宮城県全体の事故	6,753	42	43	634	8,449	9,083
安管事業所の事故	938	4	4	71	1,085	1,156
割合	13.9%	9.5%	9.3%	11.2%	12.8%	12.7%

各地区会ごとの交通事故発生状況(単月)

【11月単月】

単位:人

ブロック	地区会	業務中の事故			通勤中の事故			業務外の事故			合計		
		死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷
中央	仙台中央		1	2			4		1	11		2	17
	仙台南			3			3			2			8
	仙台北			3			7			2			12
	仙台東		1	9		2	10			8		3	27
	泉			2			2			2			6
	塩釜						1						1
	岩沼			1			3			6			10
	黒川						3						3
沿岸	石巻			3			4		1	3		1	10
	気仙沼												
	佐沼												
	登米												
	河北									1			1
	南三陸												
仙北	古川						3			4			7
	遠田												
	若柳						1						1
	築館								1			1	
	大崎西												
	加美												
仙南	柴田						3			1			4
	白石									1			1
	角田												
	亶理						1			1			2
計		2	23		2	45		3	42		7	110	

※ 11月は、業務中の事故が減少しましたが通勤中と業務外の事故が多発しました。

各地区会ごとの交通事故発生状況(累月)

【1月~11月】

単位:人

ブロック	地区会	業務中の事故			通勤中の事故			業務外の事故			合計		
		死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷
中央	仙台中央		1	34		1	33		2	56		4	123
	仙台南		1	22		6	31		1	32		8	85
	仙台北		1	16		1	32			31		2	79
	仙台東		7	74	1	10	62	1	7	53	2	24	189
	泉			23		1	31			42		1	96
	塩釜		1	10			23		2	16		3	49
	岩沼		3	17	1	3	30		1	30	1	7	77
	黒川			3		1	23		2	28		3	54
沿岸	石巻			16		1	32		4	23		5	71
	気仙沼			3			5			6			14
	佐沼			6		1	6			3		1	15
	登米						1			3			4
	河北								1	3		1	3
	南三陸			2			6			1			9
仙北	古川			7		1	18			34		1	59
	遠田			1		3	8			8		3	17
	若柳	1				1	7			3	1	1	10
	築館			4			3		1	1		1	8
	大崎西			1						4			5
	加美			2			4			8			14
仙南	柴田			7		2	17			14		2	38
	白石					1	11		1	18		2	29
	角田			1		2	14			5		2	20
	亶理			1			2			14			17
計	1	14	250	2	35	399	1	22	436	4	71	1,085	

※ 重傷者が昨年同期よりのも12人増加しています。注意をお願いします。

## 【交通事故防止対策推進の基本的配慮事項】

### ① 事故実態を可能な範囲で把握する

交通事故の増減実態、傾向、原因等について、正・副安全運転管理者と事業主が可能な限り把握し、事故防止に生かす。**（企業が主体性を持つ）**

### ② 事故実態に基づいた具体的な指示を出してあげる

朝礼やKYT活動（危険予知訓練）の機会を捉え、事故実態に即した具体的な注意点を指示するなど、企業として安全運転のための実践目標を示す。**（社員任せにしない）**

### ③ 事故が発生したらその原因を把握し再発防止措置を講じる

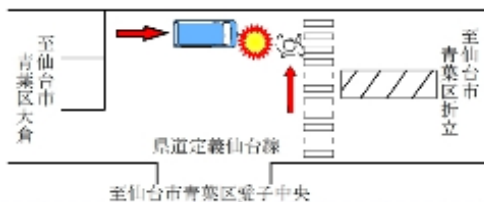
ハインリッヒの法則が示すように、小さな事故も大きな事故につながる前に、危険の芽を摘む作業を怠らない。**（企業努力による再発防止）**

交通安全

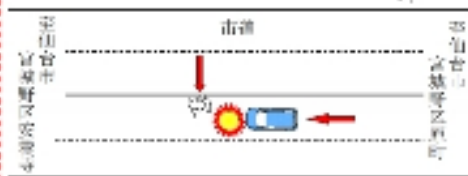
（一般社団法人安全運転管理者協会・事業主会）

「右側の歩行者」に注意！

③ 12月19日（火）午後5時00分頃、県道交差点を走行していた軽貨物車（40歳代・男性）が、横断歩道付近を横断中の歩行者（70歳代・男性）と衝突したものの。



④ 12月29日（土）午後7時00分頃、市道を走行していた軽乗用車（20歳代・男性）が、道路を横断中の歩行者（70歳代・男性）と衝突したものの。



緊急事態

12月に入り、安管選任事業所から**2件2人の交通死亡事故が発生**しています。前号で宮城県警察本部交通部が作成した交通事故統計を基に「右側からの横断者と衝突するケースが圧倒的に多いこと、特に夕暮れ時の高齢歩行者に注意する必要があること」を掲載しましたが、上の図は、まさにそのような特徴が現れた典型的な事故です。夕暮れから夜間にかけての右側から進行してくる歩行者に最大限の注意を払うように従業員みなさんに注意を促して下さい。③の事故は、横断歩道を進行中の歩行者が犠牲になっていますが、歩行者の聖域とも言える横断歩道の安全を守りましょう。～by:A.C～